

大いなる飛躍へ

JA上川中央



無人へ川による
農薬散布

2010
NO.29

発行・上川中央農業協同組合
愛別町本町125
Tel (01658) 6-5311
URL <http://www.ja-kamikawa.or.jp/>
編集・営農販売課

8

愛別地区

平成22年度 ゆめぴりか現地栽培講習会

「ゆめぴりか」の現地栽培講習会が7月16日豊里地区田中幸吉氏圃場・愛別地区土屋陽一氏圃場で開催されました。

上川農業改良普及センターの白井専門普及員を講師として、7月15日現在の昨年と比較した生育状況並びに冷害危険期後の水管理等について講習を行いました。

特に、昨年の反省を踏まえ水管理には細心の注意を払うよう、繰り返し説明をされ、参加された生産者の方々も熱心に説明を聞かれておりました。

今年産は、春先の天候不良により心配された生育の遅れも、6月が記録的な好天に恵まれた事により順調に回復し、収量・品質ともに期待の持てる出来秋を迎えられるのではないかと思われますが、生産者の皆様には、収穫までの管理に万全を期して頂きます様宜しくお願い致します。



北海道米の道外販売にかかる研修会を開催

去る、6月17日に北海道米の道外販売にかかる研修会を開催致しました。



講師としてホクレン代表理事常務、石川治徳氏並びにホクレン販売本部米穀販売室長、西方憲正氏をお招きし、ホクレンが担う販売活動方針や業務内容のお話をいただきました。

また、最近の需給状況及び21年産米の販売状況について説明があり、米消費量の減少や景気の低迷、天候不順に伴う21年産の北海道米の品質低下等の影響により苦戦を強いられましたが、ほぼ全量の販売を完了したとの報告がありました。

22年産の販売環境も依然として厳しい状況が予想されており、JA並びにホクレンが一体となって有利販売に取り組むことを確認し、日頃聞けない販売の最前線の情報が得られた有意義なものとなりました。

平成22年産小麦の現地研修会

愛別地区におきまして、今年産から新品種「きたほなみ」の本格栽培が始まっており、

「きたほなみ」は収量性・耐病性が高く、麺適性にも優れた秋まき小麦で、例年悩まされていた穂発芽にも強い品種として期待されており、

去る7月16日に「きたほなみ」に係る適期収穫に向けた現地研修会が金富地区岩城通雄氏圃場・中央地区（有）美土里圃場で開催されました。



今回の現地栽培講習会には、上川農業普及センターの重清専門普及員を講師に招き、「きたほなみ」を栽培している生産者毎の穂水分測定値による成熟期予測を中心に、収穫までの準備から収穫時の対応等について講習が行われました。

参加された生産者の方々からは色々な質問が出るなど、有意義な現地研修会となりました。

上川支部青年部・フレッシュシユミズ
合同豊穰祈願祭



6月19日、上川町大上川神社において上川支部青年部・フレッシュシユミズ合同での豊穰祈願祭が行われました。
 昨年は冷湿害の影響で生産者の皆さんには厳しい一年となりましたが、平成22年は豊穰の出来秋を祈願し参加者全員で豊穰を祈願しお参りました。

現地研修会・出荷規格検討会



大豆現地研修会
 愛別地区 本田光輝 氏宅

各部会の現地研修会、出荷規格検討会が開催され参加された組合員の皆様は、良質な作物を消費者に提供できるよう栽培管理等について研修・意見交換が行われました。



いんげん現地研修会
 愛別地区 鏡トヨ子 氏宅



ミニトマト現地研修会
 上川地区 佐藤 績 氏圃場



第20回愛別地区年金友の会
パークゴルフ大会

愛別地区年金友の会主催
第20回パークゴルフ大会が
7月9日に41名（上川地区
より3名）の参加により愛
別富沢ファミリーパークゴ
ルフ場にて開催されました。
当日は、晴天にも恵まれ、
ホールインワンも多数出る
など好プレーの続出で、参
加者も楽しく健康的な一日
を過ごしました。

これから年金を新規に受
給される方も一緒に年金友
の会の行事に参加してみま
せんか。
尚、今大会の結果は次の
通りです。

◎男性の部

- 優勝 澤 勇吉
- 準優勝 高見 忠志
- 三位 入谷 英路
- 四位 福井 三夫
- 五位 伊藤 寛

◎女性の部

- 優勝 若林 秋子
- 準優勝 木全美栄子
- 三位 鞠古キヨ子
- 四位 久米美智子
- 五位 佐橋 和子

コンプライアンス研修会

6月23日 愛別町 蔵らにお
いて、法令を遵守したJA運営
を推進するため、JA役員を
対象としたコンプライアンス研
修会を開催し、役員113名
が受講しました。

研修会では、JA北海道中央
会 旭川支所の木幡支所長をお

招きし、様々な不祥事の実例な
どを例にこれらの未然防止対策
について講話があり、職場から
不祥事を起こさないことはもと
よりJAとしての社会的責任を
果たす上での法令遵守の重要性
を再確認しました。



JAが農家の土づくりを支援します

当JA中期経営3カ年計画に基づく実践活動の1つ『地域資源フル活用による地域循環型農業』の独自対策として以下の通り支援します。

制度の内容

区 分	支 援 額	備 考
土 壌 診 断	1点当たり700円以内	年間予算額50万円の範囲内
堆 肥 支 援	購入額の20%	年間予算額350万円の範囲内

(1年間当たりの予算額を超えた場合は割合の調整をいたします。)

この事業は、土壌診断活動等を通じ土壌の実態把握と改良、地力の増進を図るため経費の一部を助成するものです。

- 事業実施者は、農業者であって、次の要件を全て満たしている方です。
 - 愛別堆肥センター又は愛別、上川地区畜産農家より購入した堆肥を使用していること。
 - 原則、町内（愛別・上川）の田・畑に施用していること。
 - 堆肥が施用された田・畑で生産された農産物を販売していること。
- 基準施用量は、北海道施肥ガイドを基準とし、次の各号の定めによる。
 - 水稻、麦類、てんさい、ばれいしょ、豆類、そば、ひまわり、とうもろこし（サイレージ用）及び飼料作物の基準施肥量は10a当たり1t
 - 牧草、露地野菜、果実及び花卉の基準施用量は10a当たり2t
 - 施設野菜の基準施用量は10a当たり4t
- 助成対象経費は事業年度の4月から積雪前までの堆肥購入に係る経費とし、加算される運賃、及び消費税額を含み、自己引取りによる割引分については除く。ただし営農上必要と認める場合は、3月中の購入に係る経費も当該事業の補助対象とする。
- 事業期間は平成22年から平成24年までの3カ年。



お問い合わせ先

営農販売課農業振興担当 本所 6-5315 支所 2-1113

アグリビジネスについて

北海道の食料自給率は、カロリーベースで全国一の二十一％ですが、生産額の食料自給率は全国第四位の一八五％にとどまっています。全国一は二四二％で、地鶏やマンゴーで知名度が高い宮崎県であることをご存じですか。

農畜産物の付加価値向上や経営多角化を目指した取組は、農産物加工直売所、農家レストラン、農家民宿などの様々な場面で行われています。また、国や道も農業の六次産業化、農商工連携など、農業や地方活性化を促進するため支援をしています。まだまだ事例が少ないせいか、なかなか進んでいない状況にあります。

そこで、このような取組がビジネスとして成功するために必要な項目について説明したいと思います。

まず、アグリビジネスは、経営の一部門であり、農業の広告宣伝費用であると考えて取り組む場合以外は、赤字にしないことは当然のことです。儲かるためには、お客様（消費者）に受け入れられ、顧客（ファン）となってもらう努力が大切であり本業の農業と同様に、しっかりとした目標や方向性が必要です。

たとえば、ただ農産物を生産するよりも、消費者の顔も見えないやりがいのある農業をしたい。販売価格が上がらないなら、加工品を販売して経営を安定させたい等の明確な方針と売れる商品づくりや販売先の確保

等を含む事業計画の作成と周囲の理解と協力を得る努力が大事です。

次に、競争力をどうつけるか、「こだわり」や「ストーリー」がないまま、ただ、〇〇産として農産物や加工品サービスを提供するだけでは、いくら良いものでも売れません。

たとえば、有機農業やGAP、HACCP等の「品質・安全管理」、「地場産・自家生産」、「添加物の使用を極力抑える努力」などの「こだわり」と、それを実現するための努力を消費者やバイヤーの心を動かすように表現することが、売れる商品に必要なストーリーとなります。

…次号に続く…

このコーナーは、道農政部が平成十八年に発行した「アグリビジネス・繁盛店の法則」等を基に営農販売課の葛西が作成しています。

プロフィール

後志管内黒松内町の酪農家出身。昭和53年から道庁で農業改良、畜産、農業金融部門等を担当、これまで札幌の他、稚内・網走・根室に勤務、平成17年度から3年間北海道商工会議所連合会で農商工連携等も担当しました。



本年4月から営農販売課に在籍しています。

「口蹄疫対策募金」のお礼

本年4月に宮崎県で発生した口蹄疫は、牛や豚の処分頭数が29万頭にも及び宮崎県の畜産や地域経済は深刻な被害を受けました。関係者の懸命な防疫対策により、ようやく終息の兆しも見えましたが、本格的な復興には多くの課題が残されています。

このような被害農家を支援するため、「口蹄疫対策募金」のお願いを申し上げ、皆様のご協力による募金総額は**254,000円**となり、去る7月8日に北海道の窓口となるJA北海道中央会へ送金いたしました。皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

なお、口蹄疫をはじめとする伝染病は、家畜や家畜糞尿などに接触した人や車、モノ等により伝搬する可能性も指摘されており、家畜を飼養する方は引き続き、消毒の徹底や部外者が消毒せずに農場へ立ち入ったり、家畜と接触することのないよう、引き続き防疫措置に万全を期すようお願いいたします。



第15回 上川農試公開デー

とき 2010 8/8 (日)
AM 10:00~PM 2:30

雨天決行

農

ところ

上川農業試験場

比布町南1線5号

と食の祭典



催し内容

- やさしい園場参観
- 水稲品種の紹介と試食
- 家庭菜園の土壌診断 (コップ1杯の土をお持ちください)
- 「農試体験ツアー」に参加してガラホン商品をゲットしよう
- 旭川農業高校によるブラスバンド演奏
- 特産品フェア
- 比布町、上川町、愛別町、当麻町の各JAおよび旭川農高による農産加工品販売

会場へのアクセス

上川農業試験場

比布町南1線5号

駐車場有 200台

旭川市内から道北バス

2 名寄駅前行き(普通)

5 愛別駅行き

32 比布スキー場行き

「基線5号」下車、徒歩5分

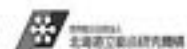
JR南比布駅から徒歩20分

JR比布駅から徒歩25分



主催：地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 農業研究本部 上川農業試験場
協賛：比布町 上川町 愛別町 当麻町 旭川農業高等学校 JAびっふ町 JA上川中央 JA当麻 上川農業改良普及センター
問い合わせ先：TEL 0166-85-2200 FAX 0166-85-4111
ホームページURL：<http://www.agri.hro.or.jp/kamikawa/kamikawa3.htm>

道総研 上川地域3試験研究機関 一般公開共同開催



7月24日(土) 第19回木のグランドフェア 木になるフェスティバル
7月31日(土) 平成22年度一般公開
8月8日(日) 第15回上川農試一般公開デー 農と食の祭典

林産試験場
北方連業組合研究所
上川農業試験場

平成23年度用 農業用被覆資材の 早期取りまとめについて

平成23年度被覆資材早期取りまとめを下記
内容で実施いたします。

申し込み

締切日／平成22年8月13日(金)

配達日／平成22年9月～11月

申込先／上川中央農協本所

購買経済課

ストーブ展示会の開催

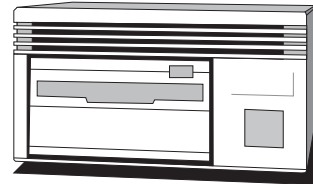
開催日時・場所／

平成22年8月27日(金) 9:00～

Aコープ店舗前……愛別地区

平成22年8月下旬(日時未定)

……上川地区



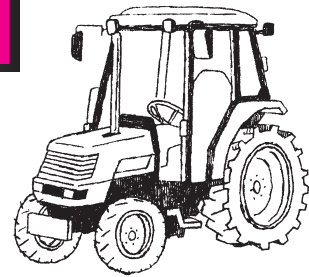
上川中央部農協合同中古農機展示会

日時／平成22年8月5日(木) 9:00～16:00

6日(金) 9:00～15:00

場所／アルーダ旭川(ホクレン油機サービス 旭川支店)

(旭川市永山2条13丁目1番28号)



組合員大感謝祭の開催

第2回 愛別地区組合員大感謝祭

開催日 平成22年8月21日(土)

●開催場所

Aコープ愛別店駐車場

●開催時間

9:00スタート

第41回 上川地区組合員大感謝祭

開催日 平成22年8月28日(土)

●開催場所

Aコープ上川店駐車場

●開催時間

9:00スタート

開催内容

農畜産物販売・組合員交流会(焼肉)等を予定しております。

2010年 あいべつ夏まつり

- と き/ 8月14日(土)
- と ころ/ ふれあい通り及び
愛別高校グラウンド(校舎横)



楽しいイベント
盛り沢山だよ!!

第34回 納涼盆踊り大会

主管 愛別町青年会議

♪子ども盆踊り 18:30~19:30
♪納涼盆踊り 19:30~21:00

各賞用意してます 団体賞・個人賞

実施の場合18:00に花火を打ち上げます。

あいべつ夏まつり実行委員会 (お問合せ 愛別町観光協会) 〒078-1405 上川郡愛別町本町166番地 愛別商工会内
TEL 01658-6-5240 FAX 01658-6-5239

普通免許が中型免許に変わる! 限定解除はいかが?

《最短5時限の練習》

普通免許

平成19年6月までに取得した方
又は
「中型車(8t)に限る」
の限定が付いている方

中型自動車

最大積載量 6.5t
乗車定員 29人まで
が運転できるようになります

クミアイ自学は
普通車の運転免許も
お得なプランを用意し
てお待ちしております。

まずはお電話ください。

当校で取得できる免許

第一種免許

普通免許
中型免許
大型免許

第二種免許

普通免許
中型免許
大型免許

大特免許
牽引免許
普通二輪免許
限定二輪免許

免許のお申し込みは
お近くの JA 窓口まで

グループ

公安委員会指定
北海道 クミアイ自動車学校

旭川市永山町8丁目182番地 ☎0120-887-931
http://www9.plala.or.jp/kumiai/ TEL 0166-48-1141

JAのあゆみ

7月

- 9日 年金友の会 愛別地区 パー
クゴルフ大会
- 平成22年度病害虫防除対策
推進合同会議
- 12日 全国監査機構 一般監査
(15日まで)
- 振興センター指導班会議
- 愛農機連 三役会議・第3
回役員会
- 愛別雑穀組合打合せ
- 14日 第3回臨時理事会
- 15日 愛別地区米現地確認
- 16日 農家経済対策委員会
ゆめぴりか現地栽培研修会
- 小麦の収穫に向けた現地研
修会
- 20日 定例企画会議
- 上川町畑作園芸振興会視察
研修
- 21日 すくい取り調査
- ホクレントラック巡回指導
- 22日 第6回理事会
- 年金友の会 上川支部旅行
(23日まで)
- 26日 実需者訪問
- 上川支所 年金相談会
- 27日 本所 年金相談会
WCS現地確認

理事会報告

第5回

報告事項

- 1、組合員の加入、出資の譲渡
並びに脱退の報告について
 - 2、夏期手当の支給について
 - 3、JAバンク基本方針に基づ
く「経営状況に関する事項」
の報告について
 - 4、第4回営農経済委員会の報
告について
 - 5、第4回農家経済対策委員会
の報告について
 - 6、要領の制定及び改正につい
て
 - 7、金融円滑化法に係る開示につ
いて
 - 8、内部審査協議会監査の結果
報告について
 - 9、内部監査室監査の結果報告
について
 - 10、固定資産取得結果報告につ
いて
- 議 事**
- 1、外部出資の増口について
 - 2、規程の制定及び改正につい
て
 - 3、長期資金の融資について
 - 4、固定資産の取得について
 - 5、平成22年産米出荷契約金の
支払について

理事会報告

第6回

報告事項

- 1、組合員の加入、出資の譲渡、
脱退並びに資格変更につい
て
 - 2、内部監査室内部監査（営農
販売、上川支所金融）結果
報告について
 - 3、あいべつ夏祭り賛助金の支
出について
 - 4、第5回農家経済対策委員会
の報告について
 - 5、固定資産の取得結果報告に
ついて
- 議 事**
- 1、第1四半期JA監事監査の
結果について
 - 2、組合員の出資減口について
 - 3、農家経済対策対象農家の選
定について
 - 4、補助事業による農地排水工
事の実施について
 - 5、愛別地区・上川地区組員感
謝祭の開催について
 - 6、固定資産の取得について
 - 7、固定資産の売却について

組合員のうごき

(平成22年7月22日現在)

正組合員戸数	430戸
組合員数	2,626名
うち正組合員数	611名
うち正団体数	36団体
うち准組合員数	1,907名
うち准団体数	72団体

Aコープ店舗から
お盆の営業についてお知らせ

8月14日(土) 通常営業
8月15日(日) 営 業 9:00~17:30
8月16日(月) 休 業

※愛別店舗・上川店舗共通
※事務所・給油所については通常営業
※8月21日(土) 愛山店 臨時営業 9:00~12:00